



STELLANTIS

www.stellantisinfotainment.com

FIAT NUOVA 500 マルチメディアシステム 取扱説明書 V1.0

日本語

はじめに.....	- 3 -
ヒント、コントロール、一般情報	- 3 -
一般的な機能	- 6 -
メディアモード.....	- 15 -
ラジオ(チューナー)モード	- 17 -
電話モード.....	- 18 -
APPLE CARPLAYとANDROID AUTO.....	- 26 -
コンフォートモード.....	- 29 -
カメラ.....	- 30 -
舞台設定.....	- 31 -
接続サービス	- 44 -
ホモロゲーション	- 49 -
他のホモロゲーションの参考文献。.....	- 49 -
技術的価値.....	- 54 -

はじめに

車内のオーディオシステムは、乗員室の特徴、特にフロントパネルの外観に合わせて設計されています。

使用方法の説明は以下の通りです。注意深く読み、常に手元に置いておくことをお勧めします(例えばグローブボックスに)。

情報・エンターテインメントシステムは、運転手と乗客が簡単にアクセスできるように設置されています。操作パネルは前面のグラフィックディスプレイから素早く見つけることができ、使いやすいです。

盗難防止を強化するため、このシステムには保護システムがあり、元の車両にのみ使用可能です。

ヒント、コントロール、一般情報

サイバーセキュリティとデータ保護

車両のオーディオシステムは、ISO/SAE 21434が道路車両のサイバーセキュリティ工学向けに定めたガイドラインと原則に従って開発・製造されています。システムは以下のデータセットを保存・保護しますが、未知または信頼できない機関・個人・第三者は公開しません。

- ユーザープロフィール情報(例:氏名、電話番号)
- 携帯電話識別番号
- モバイルデバイス識別子
- アドレス帳連絡先(電話番号)
- コール履歴
- メディア再生の歴史
- 設定とユーザー設定
- セッションキーやキー生成プリミティブなどのセキュリティ関連の認証情報。

このシステムは、機密データを保護しプライバシーを維持するため

の堅牢なセキュリティメカニズムを組み込んでいます。

- 個人識別情報は強力な暗号化アルゴリズムで暗号化されています。
- セキュリティ関連の認証情報は、ハードウェア改ざんに強い場所に保管されています。
- アクセス制御メカニズムは不正アクセスを防ぐために実施されています。

道路安全

車両を始動する前に、さまざまなシステム機能の使い方を学びましょう。使用前にシステムの説明書をよく読みましょう。

重要

前面パネルとディスプレイだけを、柔らかく清潔で乾いた静電気止めの布で拭きましょう。洗浄や研磨製品は表面を傷める可能性があります。パネルやディスプレイの清掃にはアルコールなどの製品を使わず、清掃作業中はシステムをOFFモードにしてください。

受け入れ条件

運転中は受信条件が常に変わります。特に放送局から遠く離れている場合、山や建物、橋の存在によって受信が妨げられることがあります。

ケアとメンテナンス

システムが完全に稼働していることを確認するために、以下の予防措置を講じてください。

- ディスプレイは傷や液体、洗剤に敏感です。表面を損傷する可能性のある尖った物体や剛体の物体に接触してはいけません。掃除時にはディスプレイに圧力をかけないでください。
- 液体がシステムに入り込まないようにしてください。これは修復不可能な損傷を招く恐れがあります。

注意

交通情報やDABアナウンスは、アクティブな音量よりも高い音量で提供されます。

マルチメディア機器:対応する音声ファイルとフォーマット

メモリースティック(USB)のソースでは、以下の拡張子やフォーマットのファイルを再生できます:

警告

音量が大きすぎると運転は危険です。背景音(例えばクラクションや救急車のサイレンなど)が聞こえるように音量を調整してください。

- .mp3(8 – 320 kbps)
- .wma(8 – 320 kbps)
- .wav
- .flac
- .alac
- .ogg(16 – 128 kbps)
- .m4a

ポータブルメディアプレーヤー(iPod)およびBluetoothソースの場合、システムは以下の拡張子とフォーマットのファイルを再生できます。

- .mp3(8 – 320 kbps)
- .wma(8 – 320 kbps)

- .aac
- .flac
- .alac

ポータブルメディアプレーヤー(MTP)ソースでは、以下の拡張子やフォーマットのファイルを再生できます:

- .mp3(8 – 320 kbps)
- .wma(8 – 320 kbps)
- .flac
- .alac

すべてのソース(USBおよびBluetooth®)で、システムは以下のプレイリスト形式も再生可能です:

- .m3u
- .pls
- .wpl

USBソースの場合、システムは以下の拡張子やフォーマットで画像を表示できます:

- .jpeg
- .jpg
- .png

データ型	最大ファイルサイズの制限
画像	32MB
音声	256 MB

警告

常にハンドルに手を置いて安全運転をしてください。この車両のマルチメディアシステム機能の使用に関わるすべてのリスクは、あなたが全責任を負い、負わなければなりません。マルチメディアシステムは安全に使える場合のみ使用してください。これを怠ると、重傷や死亡を伴う事故につながる可能性があります。

注: 接尾辞が大文字か小文字かは違いません。USBソースの場合、システムは以下の拡張子やフォーマットで画像を表示できます:

- .JPEG
- .JPG
- .PNG

注意: システムはFAT16、FAT32、exFATフォーマットのUSBデバイスをサポートしています。このシステムは128GBを超える容量のデバイスをサポートしていません。

一般的な機能

中央トンネルの制御

シフターの下側へ通じる中央トンネルには回転制御があり、プレスや回転の種類によって機能が異なります。



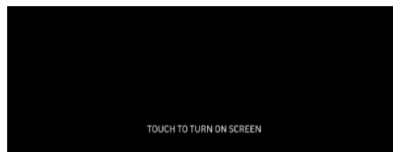
戦闘	機能
ロングプレス	無線システムのオン・オフを切り替える。
スクロールホイール	音量を上げるために前進させる。 後方に動かして音量を下げる。
ショートプレス	ミュート機能を有効化/ 無効化します。

注意: ラジオシステムのオン・オフは、システムが稼働(ラジオオン)とアイ

ドル(ラジオオフ)の状態を切り替えることを意味します。

画面のヒント/停止

ユーザーがホームページのScreen Offボタンを押すと、ラジオは約5秒間画面の先端状態に入り、その間に次の画面が表示されます。



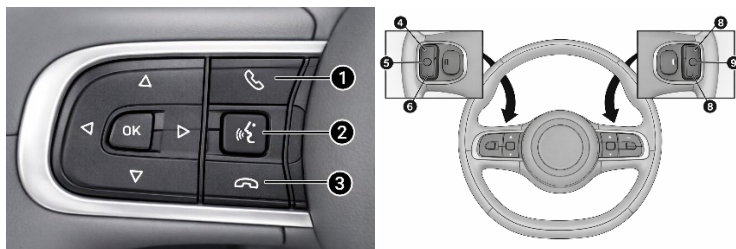
5秒後、システムは画面オフモードに切り替わり、完全に真っ黒な画面が表示されます。

通常の表示に戻るには、画面のどこかをタップするだけです。

ステアリングホイールの操作

メインシステムの操作はステアリングホイールに設置されており、操作を容易にしています。選択された機能の起動は、場合によってはボタンを押す時間(短押しまたは長押し)によって制御されます。以下の表に示されています。

ステアリングホイールの操作



画面が点灯しているときのSWCボタンの挙動:

ボタン	戦闘	ショートプレス	ロングプレス
ピックアップボタン(1)		着信中、通話を受けます	
ボイスボタン(2)		音声セッションが非アクティブの場合: 通話機能がない場合にのみ音声認識を起動します。 通話管理機能中は 音声認識が無効化され、通話管理機能のみが利用可能です。	
		音声セッションが有効で外部オーディオデバイス (Apple CarPlay®/Android Auto™)に接続されている場合: Siri/Googleアシスタントを中止します。	音声セッションが有効で外部オーディオデバイス (Apple CarPlay®/Android Auto™)に接続されている場合: Siri/Googleアシスタントを中止し、新しいSiri/Googleアシスタントセッションを開始します
		音声セッションがアクティブでなく、外部オーディオデバイス (Apple CarPlay® / Android Auto™)に	音声セッションがオフで外部オーディオデバイス (Apple CarPlay® / Android Auto™)に接続している場合、Apple CarPlay® / Android Auto™

	<p>接続されている場合: Apple CarPlay® / Android Auto™ ページに切り替わります。</p>	<p>ページに切り替わり、Siri/Googleアシスタントを起動します。</p>
<p>掛け切りボタン(3)</p>	<p>ダイヤル通話中、ダイヤルをキャンセルしてください 着信中は着信を拒否します アクティブコール中は 通話終了</p>	
<p>スキキャンアップ(4枚)</p>	<p>ラジオAM/FMでは、自動シークアップはどのようなか? ラジオDABでは、次のステーションに移動します。 メディアでは、次に利用可能なメディアトラックに切り替わります リスト内で、次に利用可能なメディアトラックに切り替わります</p>	<p>Radio AM/FMでは、有効な局を高速検索で上方にスキャンします。解除されると、ステーションが見つかると停止します。 ラジオDABでは、有効な局が見つかると高速検索が停止します。 メディアではHUがFF機能を有効にします。ボタンを離すとHUはFF機能を停止します。 リストに、行動なし。</p>
<p>スキキャンダウン(6)</p>	<p>ラジオAM/FMでは、オートシークダウンが行われます ラジオDABでは、前の局に切り替えます メディアでは、以前のメディアトラックに切り替わります リスト内で、以前の利用可能なメディアトラックに切り替えます</p>	<p>Radio AM/FMでは、有効な局を高速検索で下方向にスキャンします。解除されると、ステーションが見つかると停止します。 ラジオDABでは、有効な局が見つかると高速検索が停止します。 メディアではHUがFR機能を起動します。ボタンを離すとHUはFF機能を停止します。 リストに、行動なし。</p>
<p>Source Button(EMEA)(5)</p>	<p>以下の順序で資料間の変更点: AM -> FM -> DAB -> BT -> USB -> CP/AA BTが接続されていないければ、BTは次の送信元にバイパスされます USBデバイスが接続されていない場合、USBは次のソースにバイパスされます CP/AAが接続されていないければ、CP/AAは次のソースにバイパスされます</p>	<p>アクションなし</p>

プリセットボタン(NAFTA)(5)	アクティブラジオバンドの次のプリセットチャンネルへの変更	アクションなし
音量コントロールボタン(7-9)	音量を1段階増減させる	
ミュートボタン(EMEA)(8)	ラジオ音声を無効化/有効化 電話用マイクの無効化/有効化	アクションなし
ソースボタン(NAFTA)(8)	以下の順序で資料間の変更点: DAB -> FM -> AM -> BT -> USB -> CP/AA BTが接続されていない場合は、BTは次の送信元にバイパスされます USBデバイスが接続されていない場合、USBは次のソースにバイパスされます CP/AAが接続されていない場合は、CP/AAは次のソースにバイパスされます	アクションなし

ラジオオフ/画面オフ/画面チップ表示時のSWCボタンの挙動:

戦闘 画面の状態	ラジオ・オフ	スクリーンのヒント	スクリーンオフ
スクリーンタッチイベント	画面上のアクションはありません	画面が点灯する。(すべてのメニューやウィジェットを含むフルOPです)	
気候(AC)	ここで画面がオンになっていると、黒い画面で明るさゼロの状態です。HUはアイドルモードですが明るさは0です。上部にポップアップバーを表示するだけです。ポップアップ終了後は、明るさゼロの黒画面を維持してください	ここで画面がオンになっていると、黒い画面で明るさゼロの状態です。HUはフルオペレーターモードですが、明るさは0です。上部にポップアップバーが表示され、背景には「画面をオンにするためにタッチしてください」というメッセージが表示されます。ポップアップ終了後は、明るさゼロの黒画面を維持してください。	ここで画面がオンになっていると、黒い画面で明るさゼロの状態です。HUはフルオペレーターモードですが、明るさは0です。上部にポップアップバーを表示するだけです。ポップアップ終了後は、明るさゼロの黒画面を維持してください。
USBプラグイン	画面に何のアクションもなく、USBソースに切り替えることもできず、オート再生がオンかオフかに関わらずです。	オートプレイがオンなら画面がオンになり、メディアメインのHMIに切り替わります 自動再生がオフなら、画面はオフのまま、ソースのスイッチもありません。	オート再生がオンなら、ソーススイッチ機能だけが動作し、画面はオフのままです 自動再生がオフなら画面はオフのまま、ソースの切り替えもありません
RVC	RVCを表示し、RVC終了後、画面はOFFになります。	RVC終了後、画面はオンのまま表示します	RVCを表示し、RVC終了後、画面はOFFになります。
SWCのボリュームアップダウン	画面にアクションもなく、背景の音量も変わりません。	SWC機能だけで動作し、ディスプレイやHMI関連の操作はありません。	
サムウェル 音量アップダウン			

SWC音声ボタン、AA、CP、BT(電話接続済み)	CP、BT、AA;SWCの音声ボタンは画面が点灯します。音声が終わると画面が消えます。	CP、BT、AA;SWCの音声ボタンは画面が点灯します。音声終了後もディスプレイはオンのままです	CP、BT、AA;SWCの音声ボタンは画面が点灯します。音声が終わると画面が消えます。
SWCボイスボタン (電話は接続されていません)	画面上のアクションはありません	ショートプレスの動作: 画面が点灯し、音声コマンドを使うには電話を接続しなければならないという説明のポップアップが表示されます。 長押し動作: 画面が点灯し、Bluetoothペアリングを開始するための説明的なポップアップが表示されます。	
AA、CP、BTからの着信電話を受け付けます (SWC)	画面が起動し通話ページが表示され、通話終了後に無線が戻り、無線がオフの状態になります	画面がオンになり通話のポップアップが表示され、その後「受理」されました。SWC経由で通話が終了した後も、画面は点灯したままです	画面がオンになり通話のポップアップが表示され、その後「受理」されました。SWC経由で通話が終了すると、画面はオフになります。
着信電話(SWC)を拒否する AA、CP、BT	画面が起動し通話ページが表示されますが、通話を拒否すると無線はラジオオフの状態に戻ります	画面がオンになり、通話のポップアップが表示されます。 その後、画面は点灯したまま、却下されました	画面がオンになり、通話のポップアップが表示されます。その後、拒否され、画面がオフになります。
スキャンアップ(SWC)ボタン	画面上にアクションがなく、バックグラウンドで機能が動いていません	画面上のアクションはありません SWC機能はバックグラウンドで動作します。	
スキャンダウン(SWC)ボタン			
早送り(SWC)ボタン			
ファストバックワード(SWC)ボタン			
SWCプリセットボタン			
SWCソースボタン			

注意: SWCボタンの挙動はCP/AA認定要件によって異なる場合があります。

タッチスクリーン機能

ラジオシステムにはタッチスクリーン機能も搭載されています。ステアリングホイールのボタンでメニューや機能を選択するほか、ディスプレイに表示されるアイコンを押すことで様々な機能やモードと操作することも可能です。


タッチスクリーン機能を使って実行可能な操作

このシステムはタッチスクリーン機能を使用しています。さまざまな機能とやり取りするには、表示されているグラフィックボタンを押します。



選択を確認するには、グラフィックボタンの「OK」を押すか、必要な選択にチェックを入れてください。

サブメニューにアクセスするには、「>」グラフィックボタンを押してください。

前の画面に戻るには、アクティブな画面によって「X」(削除)ボタンまたは「<」(戻る)ボタンを押してください。

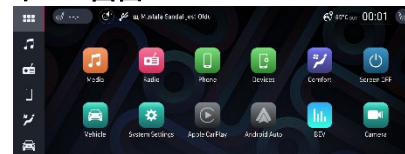
ホーム画面やホーム位置に戻るには 、グラフィックボタンを押してください。

タッチスクリーン機能を使って、利用可能な音楽トラックリスト、電話番号、設定などにアクセスできます。

ディスプレイ上のアクション	機能
	スクロールアップ
	スクロールダウン

	左に動け
	右に動け
	ショートプレス
	ロングプレス

ホーム画面



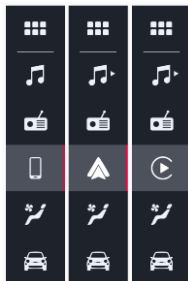
マルチメディアシステムのホームページを最初に見ると、さまざまなメニューが2x6のレイアウトで表示されます。これらのメニューは、特定のパーエーションによって異なる場合があります。

ディスプレイエリアのグラフィックボタン



車両	追加の車の設定や機能へのアクセス	グラフィックボタンを押してください
----	------------------	-------------------

注意: サイドバーのアイコンは接続状況によって変わります: 携帯電話またはBluetooth®オーディオデバイス用アイコン、 CarPlay用アイコン、 Android Auto用アイコン。



サイドバー(1)

グラフィックボタン	機能	モード
	メイン画面を表示	グラフィックボタンを押してください
	メディアモードにアクセスして、利用可能なソース、フォルダ、トラック、オーディオ設定との操作を選択できます	グラフィックボタンを押してください
	ラジオモードへのアクセス	グラフィックボタンを押してください
	電話モードへのアクセス	グラフィックボタンを押してください

ステータスバー(2-8)

グラフィックエリア	機能	モード
2 快適さ	運転席側と助手席側の空調システム表示と設定	シートヒート、ステアリングホイール、温度ボタンを押します

3 TSR警告	交通標識認識の設定	グラフィックボタンを押して、警告チャイムをミュート/ミュート解除してください
4 アクティブソース	表示アクティブソースまたはHFPコールアクティブ	-
5 出典/呼び声の説明	ラジオ局(利用可能な場合)、発信者名、通話時間を表示してください	通話があった際にはグラフィックボタンを押して通話画面を切り替えてください
6 クイックボタンバー	アイコン表示(装備時): ミュージック・エンターテインメント/ マイク 信号とローミング バッテリーレベル BTコネクション コンパス 地理的位置	-
7 外部温度	選択された単位(CまたはF)に基づく外部温度を表示します	-
8 タイム	表示時間	クロック設定ポップアップ

メディアモード

「♪」グラフィックボタンを押して音楽を聴いて管理し、利用可能なリストを確認し、好みのオーディオ設定を選び、USB、Bluetooth®、AA/CPの中から好きな音源を選びましょう。

メディアモードを選択した後、表示には以下の情報が表示されま

す。
左側: 出典を表示。表示するソースを選択してください。再生中のソースはディスプレイ上でハイライト表示されます。

上部: 各ページを選択してください

機能の「演奏」、
「ブラウズ」、「オーディオ」などです。

中間部分: 情報表示

再生中のトラックと再生コントロールボタンについて:

「Bluetooth」:Bluetooth®オーディオ用

出典、デバイス一覧を開く

USB/Bluetooth®のソースを「ブラウズ」すると、デバイス内のコンテンツを検索できます

USB/Bluetooth®ソース用の「Tracks」は、プレイリストからトラックを選択できます

◀▶▶▶: 前回/次のトラックを選択してください

▶||: 再生/一時停止。

注意: 電源状態間の遷移中、再生/一時停止の状態が保持されるかどうかは、アクティブなソースによって異なります。

🎲: トラックのランダム再生

(オーディオトラックが再生されている場合)フォルダ内に含まれており、シャッフル状態は「Shuffle ON」「Shuffle OFF」「Shuffle Not Supported」の3つのシャッフル状態です。

🔄 :最後のトラックが終了すると、再生は自動的に再生リストの最初のトラックから再開され、4つのリピート状態が続きます:「Repeat OFF」「Repeat ONE」「Repeat ALL」「Repeat Not Supported」

閲覧

ブラウズでは、再生中のトラック一覧を表示するウィンドウを開けることができます。

グラフィックボタンは、トラックに記録された情報に基づいて、

USBまたはBluetooth®で接続されたデバイスのフォルダ、アーティスト、プレイリスト、曲、アルバム、ジャンルのリストを閲覧できます。

各リスト内の「ABC」グラフィックボタンで、ユーザーは希望する文字にスキップできます。

USBソース

システムは中央ダッシュボードにタイプAのUSBデータ&充電ポートが1つあります。




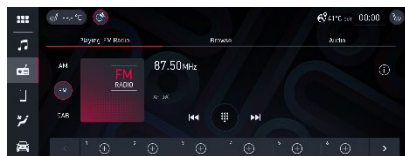
ラジオがオンの状態でダッシュボードのポートにUSBデバイスを接続すると、「AutoPlay」が「ON」に設定され

ていると、その機器のトラックが再生され始めます

「オーディオ」メニューに。「AutoPlay」機能がオフに設定されていてスマートフォンが接続されている場合、デバイスの充電のみが有効になります。

ラジオ(チューナー)モード

「」グラフィックボタンを押して、好みのオーディオ設定を選択し、利用可能な音源(AMラジオ、FM、DAB(利用可能な場合)から選んでください。



ラジオモードを選択した後、表示には以下の情報が表示されます。

左側: 出典を表示。表示するソースを選択してください。再生中のソースはディスプレイ上でハイライト表示されます。

上部: 各ページを選択してください


機能の「演奏」、

「ブラウズ」、「オーディオ」などです。

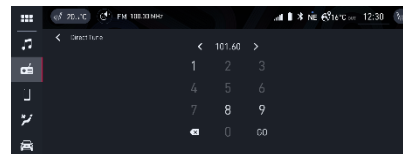
中間部分: 情報表示

再生中のステーションと再生コントロールボタンについて:

◀◀▶▶: 前回/次のトラックを選択してください

: 局にダイレクトチューニングするには、その局の数値周波数を入力して「go」ボタンを押してください。その後、マルチメディアシステムがその周波数に切り替わり、放送を開始します。

「<」と「>」ボタンを短く押すと手動チューニングができ、長押しで高速チューニングが可能です。



下部: お気に入りのラジオ局に素早くアクセスできます。

注: DAB周波数はデジタル送信技術が利用可能な国で使用可能です。DABボタンを押せば、デバイスは任意の周波数にチューニングされますがサービスが提供されていない国でブレスされます。

電話モード

☐ ディスプレイの「」ボタンを押すと電話モードが起動されます。

注:携帯電話および対応機能のリストを参照するには、

www.stellantisinfotainment.com/ のウェブサイトをご覧ください。

このモードは以下に使用できます:

- 電話番号をダイヤルする(ディスプレイ上のグラフィックダイヤルパッドを使って)。
- 携帯電話の電話帳に連絡先を表示し、電話をかけてください。
- 過去の通話のレジスタから通話連絡先を表示・通話します。
- 最大5台の電話やオーディオ機器をペアリングして、アクセスや接続をより簡単かつ迅速にします。

- システムから携帯電話への通話転送、またはその逆を切り替え、プライベートな会話のためにマイクの音声を無効にします。

Bluetooth®による携帯電話のペアリング

Bluetooth®デバイス(例:スマートフォン)のペアリングは、「Phone」ページの「デバイスマネージャー」機能から行われます。

「デバイスマネージャー」メニュー

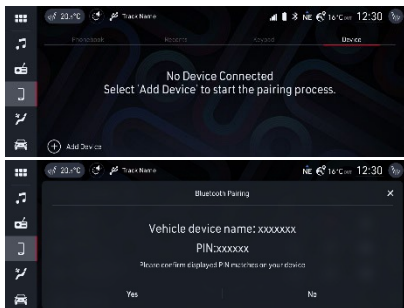
は、サイドバーの☐電話アイコンをクリックするか、ホームページの「デバイス」メニューを選択することでアクセスできます。

携帯電話のペアリング手順は以下に説明します。携帯電話のハンドブックは必ず確認してください。携帯

電話のペアリングは以下の通りです:

- 携帯電話のBluetooth®機能を有効にしてください。
- ディスプレイの「Phones」グラフィックボタンを押してください
- まだシステムとペアリングされていない電話機は、ディスプレイに専用画面が表示されます。
- 「Phones」にアクセスし、「デバイスを追加」グラフィックボタンを押してペアリング手続きを開始し、その後携帯電話でデバイスを検索します。

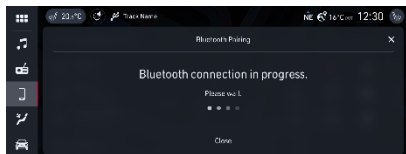
携帯電話で「FIAT_XXXXXX」を検索します(ペアリング段階では操作の進行状況を示す画面が表示されます)



注意: デバイス名はあくまで仮名であり、「FIAT_XXXXXX」に置き換えます。

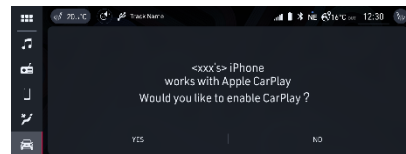
注意: 上の図に示されたPINは任意のものであり、デバイスごとに異なる場合があります。

- 携帯電話から促されたら、表示されたPINを携帯電話に確認してください。
- ペ어링段階では、操作の進行状況を示す画面が表示されます。



Androidスマートフォンの場合、Android Autoを自動で有効にするオプション(設定/一般/Android Auto参照)がある場合、デバイスはユーザーのスマートフォンと並列Wi-Fi接続を確立し、この接続が成功するとAndroid Autoアプリケーションが自動的に起動します。Android Auto接続が確立されると、電話はAndroid Autoのインターフェースを通じてのみ行うことができます。

Appleユーザーの場合、Bluetooth®接続を確立するとポップアップメッセージが表示され、CarPlayを有効にするかどうかを尋ねられます。



注意: Android Autoを無効にするには、「Android Autoの切断」セクションを確認してください。

注意: マルチメディアシステムは、Bluetooth®機能が有効な場合、すでにペアリング済みの電話に自動的に再接続します。Android AutoやApple CarPlayも、前のセッションで適切な接続が確立されると自動的に起動されます。

注意: 電話ソフトを更新した後の正常な動作を確保するためには、無線機にリンクされたデバイスリストから電話を削除し、以前のシステムペアリングもBluetooth®デバイスリスト

から削除してから新しいペアリングを作成することをお勧めします。



上部には以下のグラフィックボタンが表示されます:

- 「電話帳」:電話帳がインポートされている場合、接続された携帯電話の連絡先リスト。
- 「最近の通話」:電話帳をインポートした場合、接続された携帯電話で行った最近の通話の一覧(電話帳のインポートセクションを参照)。
- 「キーパッド」:ユーザーが手動で発信する番号を入力できるインターフェイスです(電話通話機能/「キーパッド」を使って電話

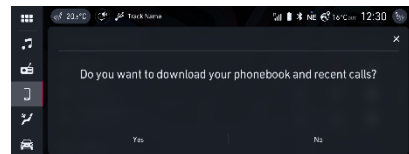
番号をダイヤルする方法を参照)。

- 「デバイス」:マルチメディアシステムに接続されたデバイスの一覧。

電話帳のインポート(連絡先と最近の通話履歴)

携帯電話がBluetooth®経由でデータ転送が可能であれば、ペアリング中にポップアップメッセージが表示され、ユーザーに電話帳をダウンロードするよう促します。

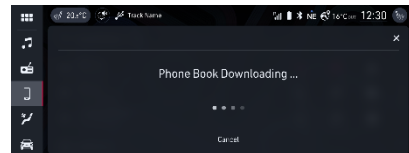
- 連絡先リストと最近の通話履歴をシステムにインポートするには「YES」と答えてください。
- インポートを拒否するには「いいえ」と答えてください。これらのデータは後からインポート可能です。



接続された携帯電話ごとに最大3000件の連絡先をダウンロード・更新できます。

現在システムに接続されている携帯電話の電話帳のみにアクセスできます。

ペアリングされた携帯電話の電話帳がまだインポートされていない場合は、「ダウンロード」ボタンを押すことでダウンロードできます。



ABCボタンを押すと、キーボードメニューで電話帳の連絡先を選択した最初の文字で一覧表示します。

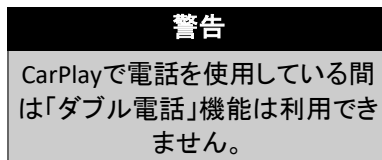
注意: 携帯電話から一度データをインポートした後、その携帯電話とシステムでBluetooth®接続が確立されるたびに自動的にデータ転送が開始されます。

注意: 携帯電話から読み込んだ電話帳はマルチメディアシステム上で編集できません。デバイスがペアリング済みデバイスリストから削除されるか、マルチメディアシステムがデフォルト設定に戻されると、電話帳は自動的にマルチメディアシステムから削除されます。

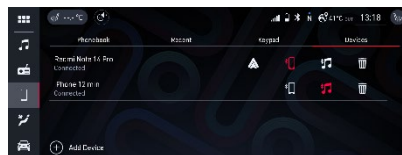
注意: Bluetooth®接続の機能や音質は携帯電話ブランドによって異なる場合があります。対応携帯電話のリストはウェブサイト

[:https://www.stellantisinfotainment.com/](https://www.stellantisinfotainment.com/) で公開されています。

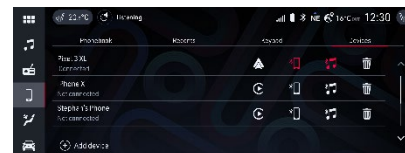
「ダブル電話」機能




マルチメディアシステムにより、2台の電話に同時にBluetooth®接続が可能です。接続された2台のうち、Bluetooth®経由でマルチメディアコンテンツを再生できるのは1台だけです。この機能を有効にするには、「デバイスマネージャー」画面で「2台のアクティブな電話」を選択してください。



携帯電話/オーディオ機器/Android Auto/Apple CarPlayの切断




携帯電話やBluetooth®オーディオ機器の接続を切り離すには:

- サイドバーの「」ボタン  を押してください
- デバイスのボタンは、ページ上部のヘッダーから押してください
- 「電話」グラフィックボタンを押して「電話源」から切断してください。
- 「メディア」グラフィックボタンを押して「メディアソース」として切断してください
- 「Android Auto」グラフィックボタンを押して「Android Auto」として切断してください

- 「Car Play」グラフィックボタンを押して「Car Play」として切断します。

携帯電話の削除

携帯電話やBluetooth®オーディオデバイスを削除するには:

- ディスプレイの「」ボタンを押してください
- デバイスのボタンは、ページ上部のヘッダーから押してください
- 「削除」グラフィックボタンを押してください。

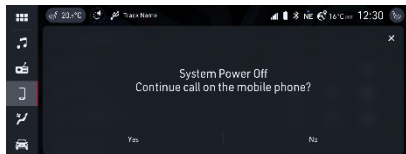
電話通話機能

電話通話機能にアクセスするには、携帯電話をBluetooth®でマルチメディアシステムに接続する必要があります。詳細については「Bluetooth®

による携帯電話のペアリング」セクションをご参照ください。

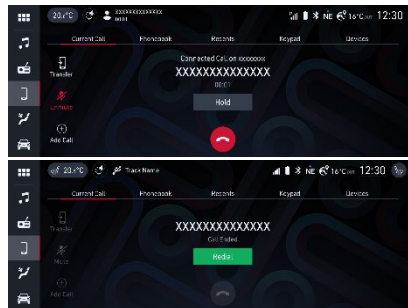
以下の機能は、モバイルサービスプロバイダーがサポートしている場合(例:三者通話)利用できます。

注意: エンジン停止後、電源オフ遅延設定から20分オプションを選択している場合(システム設定/一般設定/電源オフ遅延参照)電話通話を継続可能です。通話は終了するまで、または最大20分間の通話時間で続けます。システムがオフになると、通話は携帯電話に転送されます。



注意: 通話中は「ミュート」ボタンを押すか、ギアシフター右側の中央ト

ネルにあるロータリーコントロールを短く押すことでマイクを解除・起動できます。マイクを停止すると、進行中の通話を聞くことができます。



電話をかける

以下に説明する操作は、使用中の携帯電話がサポートしている場合のみアクセス可能です。利用可能なすべての機能については、携帯電話所有者のハンドブックを参照してください。

通話は以下の方法で行うことができます:

- 「電話帳」を選択する
- 「最近のこと」を選択する
- 「キーパッド」を選択する
- 「再ダイヤル」を選択する

「キーパッド」を使って電話番号をダイヤルする方法

- 電話番号はグラフィックキーボードで手動で入力してください。
- 「コール」を押して通話してください



「最近の通話」を使って通話をする方法

各通話タイプごとに最後にかけてられた通話の一覧は以下の通りに表示できます:

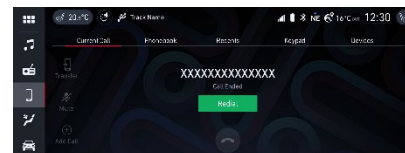
- すべてのコール
- 着信
- 発信通話
- 不在着信

リストに表示されている最近の通話の中から1つを選択して、表示された番号にかけてください。





再ダイヤル

最後にかけてられた番号や連絡先に電話をかけるには、電話メインメニューの「再ダイヤル」を押してください。



着信の受信

携帯電話で電話がかかってくると、システムはオーディオシステムを無効化し(アクティブ時は)ポップアップ画面を表示します。

- 「承諾」を選択するか、 ステアリングホイールのボタンを押して応答してください。
- 着信を拒否するにはステアリングホイールの  「拒否」ボタンを選びます。



アクティブコール中に着信を受ける

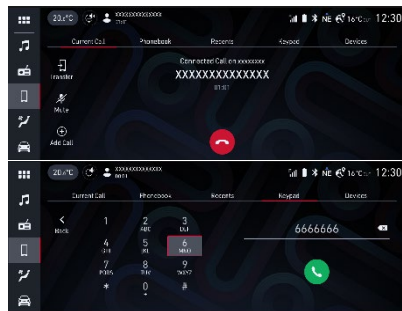
- アクティブ通話中に新しい通話に出るには、「応答」を押して新しい着信に応答します。新しい通話に出ると、前の通話は自動的に保留にされ、2つの通話を切り替えて統合するオプションが表示されます(「2つの電話通話を管理する」を参照)。
- 「拒否」を選択して着信を拒否し、現在の通話を続けてください。


注意: 一部の携帯電話は、通話中で着信の管理をサポートしない場合があります。

二本目の電話をかける

- 通話中、2回目の電話は以下の通りになることがあります。

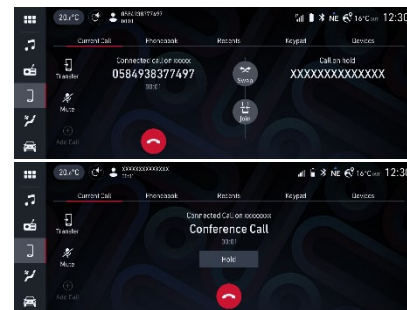
- 通話中は「通話を追加」を選択してキーパッド画面を開きます



- キーパッドで番号を入力し、ボタンを押す  か、
- 最近の通話リストから番号を選択するには「最近の件」を選択してください。
- 「電話帳」を選択し、連絡先を選択します。


2本の電話の管理

2つの通話が進行中(1つは進行中、1つは保留中)の場合、「スワップ」ボタンを押して切り替えたり、「参加」を押して2つの通話を統合したりできます



注意: 一部の携帯電話は、2つの別々の通話と1つの会議通話の管理をサポートしていない場合もあります。

通話終了

 通話中を終了するには、ステアリングホイールのボタンを押すか

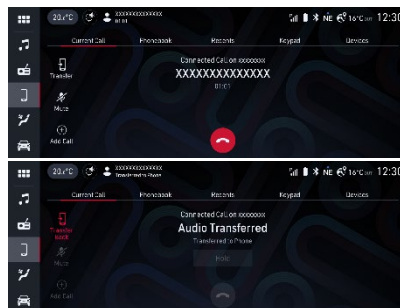
電話を切ってください。アクティブな通話だけが終了し、保留中の通話が新しいアクティブ通話となります。

注意: 携帯電話によっては、通話中が発信者によって終了した場合、保留中の通話が自動的に有効化されない場合があります。

通話転送

通話中は携帯電話からマルチメディアシステムへ、またはその逆に通話を終了せずに転送できます。

- 携帯電話からマルチメディアシステムへの通話転送は、「転送」ボタンを押してください。
- マルチメディアシステムから携帯電話への通話転送は、「転送戻す」ボタンを押してください。



APPLE CARPLAYとANDROID AUTO


Apple CarPlayとAndroid Autoアプリは、車内でスマートフォンを安全かつ直感的に使うことを可能にします。それを有効にするには、マルチメディアシステム、対応スマートフォン、車のUSBポートまたはワイヤレスモード、そしてスマートフォンの内容がメインメニューに自動的に表示されます。

スマートフォンの互換性やお住まいの国でのサービス利用状況を確認するには、以下のウェブサイトの表示をご覧ください。

<https://www.android.com/autof/> と

<http://www.apple.com/ios/carplay>

スマートフォンがUSBポートやワイヤレスモードで正しく車に接続されている場合、メインメニューのグラフィックボタンの代わりにApple CarPlay

またはAndroid Autoのアイコンが表示されます 。

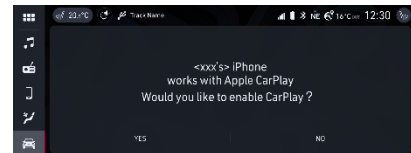
注意: マルチメディアシステムの表示表示の日付と時間は、バッテリーを切断した後も実際の日付と時刻と一致しなければなりません。マルチメディアシステムの「設定」メニューから調整してください。表示上の日付と時刻と実際の日付・時刻の不一致は、Apple CarPlayやAndroid Autoの不具合による可能性があります。

Apple CarPlayアプリのセットアップ

Apple CarPlayはiPhone 5以降のモデル、iOS 7.1以降のOSに対応しています。Apple CarPlayを使う前に、スマートフォンの「設定」>「一般」>「Siri」からSiriを有効にしてください。

Apple CarPlayを使用するには、スマートフォンをUSBケーブルまたはBluetooth®で車に接続する必要があります。

ワイヤレス接続を確立しようとする際、まず携帯電話をBluetooth®経由でマルチメディアデバイスとペアリングする必要があります(「メディアモード/Bluetooth®による携帯電話ペアリング」を参照)。Bluetooth®接続が確立されると、ユーザーがCarPlayを有効にするかどうかを示すポップアップ画面が表示されます。

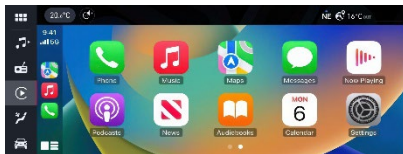


- 「はい」を選択すると、スマートフォンにポップアップが表示さ

れ、その結果、マルチメディアデバイスでCarPlayが開始されます。

- 「いいえ」を選択するとCarPlay接続が終了し、ユーザーはマルチメディアデバイスとの通常の接続を確立するよう指示されます(「Phone Mode/Bluetooth® per mobile phoneペアリング」参照)

注意: CarPlayやAndroid Autoなどの機能を有効にするにはスマートフォンでの操作が必要になる場合があります。必要なら、スマートフォンで手順を踏み入れてください。

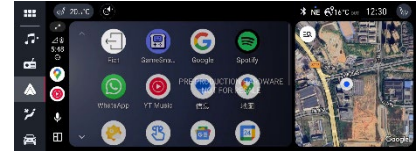


Android Auto アプリの設定

使用前に、Google PlayストアからAndroid Autoアプリをダウンロードしてください。

このアプリケーションはAndroid 5.0(Lollipop)以降のバージョンに対応しています。

Androidバージョン10以降は、Android AutoアプリがスマートフォンのOSに統合され、ダウンロードは不要です。このアプリはAndroid 8.0(無線接続はAndroid 11.0)以降のバージョンに対応しています。Android Autoを使用するには、スマートフォンをUSBケーブルまたはBluetooth®で車に接続する必要があります。最初の接続では、スマートフォンに表示される設定手順を実行する必要があります。この手順は車を静止させた状態でしか行えません。USBポートに接続すると、Android AutoアプリケーションはパラレルBluetooth®接続を確立します。



注意: 「Android Auto」アプリが端末にインストール・アンインストールされている場合、USB接続時にラジオに「Android Auto」のポップアップが表示されることがあります。電話から音楽を聴くには、まず切断してから再接続する必要があります。

注意: もしデバイスがAndroid Autoのワイヤレス機能をサポートしていて、以前にBluetoothでペアリング済みの場合、手動で接続を切ってもシステムを再起動すると、ペアリング済みデバイスリストに残っていれば自動的にAndroid Auto Wirelessとして接続されます。

Android AutoおよびApple CarPlay アプリからの終了

Apple CarPlayまたはAndroid Autoのセッションを終了するには、スマートフォンを車のUSBポートから物理的に切断するか、AA/CPメイン画面の退出アイコンを押してください。

コンフォートモード



メイン画面では以下を選択できます:

- 自動エアコンシステム「オート」の作動(自動エアコン専用)
- 循環関数(オン/オフ)
- エアフローの分配設定:フロントガラス、顔、足
- 室内温度設定
- 高速フロントガラス加熱(☀Max)
- リアウィンドウの霜取り(☁Rear)
- 運転席/助手席の暖房(提供されている場合)
- 最大冷却(最大エアコン)で空調システムを作動させること
- 気候制御システム(A/C)の起動
- 温度同期および運転席側・助手席側換気(同期)
- エアコンを切る(オフ)
- 加熱レベル

カメラ

システムは運転者に次のように警告します。

マルチメディアシステム表示の視覚的表示。

カメラの起動/停止

バックギアがかかると、マルチメディアシステムディスプレイにリアビューカメラで車内の周囲のエリアが表示されます。



バックビューカメラの設定は、メインメニューの「設定/カメラ」からアクセスできます。

画像は警告メッセージとともにディスプレイに表示されます。

「ParkView Backup Camera Delay」オプションが有効な場合、バックギアを切ると、車の速度が13 km/hを超えない限り、リバース解除後も最大10秒間カメラ映像が表示され続けます。

- ギアレバーが「P」ポジションにあるか確認してください
- 点火装置は停止位置にありません。

シフトレバーが「R」位置でないと、マルチメディアシステムで「ParkView Backup Camera Delay」設定が有効であれば、カメラの画像表示を無効化するボタンが車両後方の画像とともに表示されます。

リアギアのオーディオミュート機能
リバースギアが有効な時は、マルチメディア音量が自動的に5に設定されます。音量は0から5の間までしか変更できず、リバースギアが解除されるまでは変えられません。リバースギアを解除すると、音量は元の設定に戻ります。

警告

舞台設定

「設定」メニューは、イグニッションデバイスをスタート位置に置くと利用可能です。

「設定」メニューは、メイン画面のサイドバーにあるグラフィックの「ビークル」ボタンまたはホーム画面からアクセスできます

注:表示されるメニューはバージョンによって異なります。

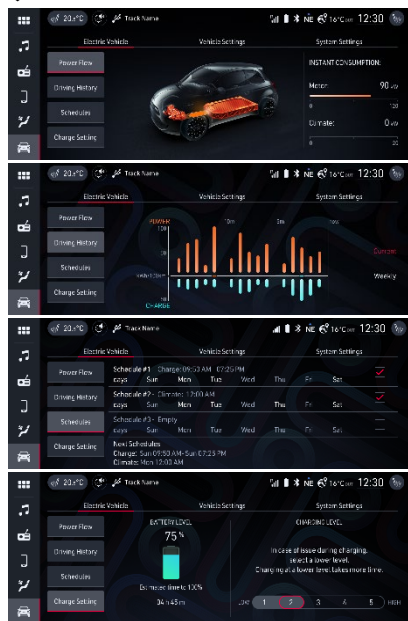
メニューは参考資料で、以下の項目が含まれています。

- 電気自動車
- 車両設定
- システム設定

電気自動車 (装備車のみ)

電気自動車にアクセスするには、車両タブのトップヘッダーから「電気自動車」を選択してください。

電気自動車のページを押すと、一連の電気自動車ページに移動します:

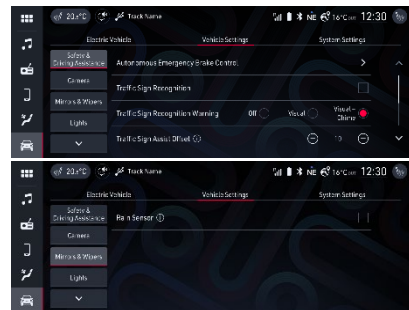


パワーフロー、走行履歴、スケジュール、充電設定。

注意: HMIの画面はドラフト版であり、後日更新されます。

車両設定

ビークル設定にアクセスするには、ビークルタブのトップページヘッダーから「ビークル設定」を選択してください。

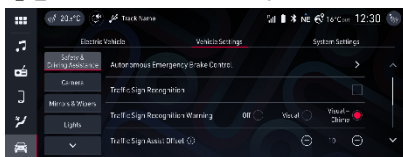


目安として、メニューには以下の項目が含まれています。

- 安全・運転支援
- カメラ
- ミロス&ワイパー
- 照明
- ブレーキ
- ドアと鍵
- 座席と快適さ
- 地理的位置

安全・運転支援

「安全・運転支援」設定メニューにアクセスするには、車両設定のサブメニューにある「安全と運転支援」をクリックしてください。



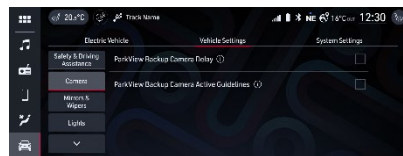
以下の調整が可能です：

- 自律非常ブレーキ制御 [1]
- 交通標識認識 [2]
- 交通標識認識警告 [3]
- 交通標識支援オフセット [4]
- インテリジェントスピードアシストオプション [5]
- 新しい速度帯表示 [6]

- レーンコントロール [7]
- パークアシスト [8]
- フロントパークアシスト ボリューム [9]
- リアパークアシスト ボリューム [10]
- 側面距離警告 [11]
- 注意支援 [12]
- ブラインドスポットアシスト [13]

カメラ

「カメラ」メニューにアクセスするには、ビークル設定のサブメニューで「カメラ」を押してください。

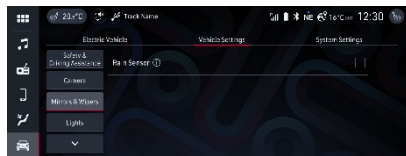


目安として、メニューには以下の項目が含まれています。

- ParkViewバックアップカメラの遅延 [14]
- ParkViewバックアップカメラのアクティブガイドライン [15]

ミラーとワイパー

「ミラー&ワイパー」メニューにアクセスするには、ビークル設定のサブメニューにある「ミラー&ワイパー」をクリックしてください。

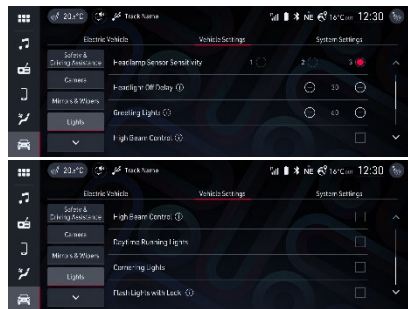


目安として、メニューには以下の項目が含まれています。

- 雨のセンサー [16]

照明

ディスプレイの「ライト」ボタンを押すと、ビークル設定のサブメニューから「ライト」にアクセスできます。

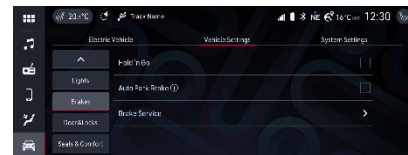


目安として、メニューには以下の項目が含まれています。

- ヘッドランプセンサー感度 [17]
- ヘッドライトオフ遅延 [18]
- グリーティング・ライツ [19]
- ハイビームコントロール [20]
- デイタイムランニングライト [21]
- コーナリングライト [22]
- ロック付き懐中電灯 [23]

ブレーキ

ディスプレイの「ブレーキ」ボタンを押すと、車両設定のサブメニューから「ブレーキ」にアクセスできます。



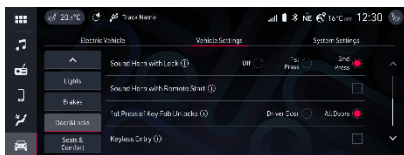
目安として、メニューには以下の項目が含まれています。

- ホールド・ン・ゴー [24]
- オートパークブレーキ [25]
- ブレーキサービス [26]

ドアと鍵

表示の「ドア&ロック」ボタンを押すと設定にアクセスできます。



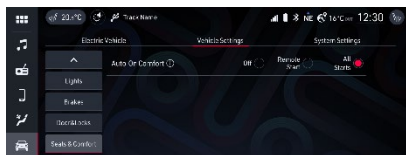


目安として、メニューには以下の項目が含まれています。

- 自動ドアロック [27]
- 出口時の自動アンロック [28]
- ロック付きの懐中電灯 [29]
- ロック付きのサウンドホーン [30]
- リモートスタート付きのサウンドホーン [31]
- キーフオブの初回ボタン解除 [32]
- キーレスエントリー [33]

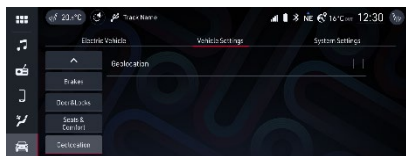
座席と快適さ

ディスプレイの「シート&コンフォート」ボタンを押すと、オートオンコンフォート[34]設定にアクセスできます。

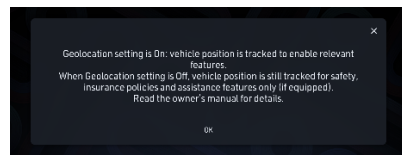


位置情報 [35]

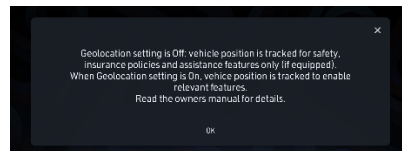
ジオロケーションは、ナビゲーション、緊急支援、追跡、位置特定サービスのために車両のリアルタイム位置を特定します。プライバシー法で規制されている場所へのアクセスにはユーザーの許可が必要です。



Geolocation設定がオンの場合、マルチメディアシステムにはGeolocation ONの免責事項が表示されます。



ジオロケーション設定がオフの場合、マルチメディアシステムはジオロケーションオフの免責事項を表示しません。



車両設定一覧

安全と運転支援	
設定名	概要
[1] 自律型非常ブレーキ制御	このサブメニューには以下の設定があります:AEBコントロールおよびAEBコントロール感度。 AEB制御の利用可能なオプションは、ON/OFFまたは「オフ」「警告のみ」「警告+アクティブブレーキ」または「オフ」「アクティブブレーキのみ」「警告+アクティブブレーキング」です。AEBの制御感度の選択肢は「近接」「中距離」「遠」です。
[2] 交通標識認識	この設定で交通標識認識のオン/オフができます。
[3] 交通標識認識警告	この設定では、交通標識に関連する警告タイプを設定できます。利用可能なオプションは「オフ」、「ビジュアル」、「ビジュアル+チャイム」です。
[4] 交通標識アシストオフセット	利用可能な設定は[0-10] kmh / [0-5] mphです。
[5] インテリジェントスピードアシストオプション	この設定でインテリジェントな速度オプションをカスタマイズできます。選択可能なオプションは「手動確認」と「自動確認」です。
[6] 新しい速度帯表示	この設定では、あるエリアで制限速度が変わったとシステムが警告するかどうかを設定できます。利用可能なオプションは「オフ」、「ビジュアル」、「ビジュアル+チャイム」です。
[7] レーンコントロール	2つのサブメニューに分かれています。レーンコントロール警告とレーンコントロール強度 レーンコントロール警告:この設定はレーンセンスの警告タイプを設定します。利用可能な選択肢は「早い」「中程度」「遅い」です。

	レーンコントロールの強さ:この設定はレーンセンスの強さを設定します。利用可能な選択肢は「低」「中」「高」です。
[8] パークアシスト	この設定により、近接物体が検出された際のパークセンスアラートの種類が変わります。「サウンドのみ」設定では、物体が検出されると音が鳴ります。「サウンド&ディスプレイ」設定では、物体が検出された際に音声チャイムと視覚表示の両方が発生します。
[9] フロントパークアシストボリューム	この設定はフロントパークセンスの音量を調整します。利用可能な設定は「低」、「中」、「高」です。
[10] リアパークアシストボリューム	この設定はリアパークセンスの音量を調整します。利用可能な設定は「低」、「中」、「高」です。
[11] 側面距離警告	この設定は側面距離警告のオン/オフを切り替え、システムがユーザーとどのように通信するかを決定します。「オフ」設定でシステムを無効化します。「サウンド」設定はユーザーに音声チャイムを鳴らします。「サウンド&ディスプレイ」設定は、音声チャイムと視覚表示の両方を提供します。
[12] 注意支援	この設定は運転者の運転習慣を監視し、眠気の兆候を示す変化を警告します。利用可能なオプションは「オン」と「オフ」です。
[13] ブラインドスポットアシスト	この設定により、車両の死角に物体が検出された際のアラートの種類が変わります。「オフ」設定でブラインドスポットアラートがオフになります。「ライト」設定は外側ミラーのブラインドスポットアラートライトを点灯させます。「ライト&チャイム」設定で、外側のミラーのライトと音が鳴るチャイムの両方が点灯します。
カメラ	
設定名	概要
[14] ParkView/バックアップカメラの遅延	この設定は、逆行からシフトアウトする際にParkView/バックカメラに遅延を追加します。

[15] パークビューバックアップカメラのアクティブガイドライン	この設定でParkViewバックアップカメラのアクティブガイドラインがオンまたはオフになります。
ミラーズ&ワイパー	
設定名	概要
[16] 雨のセンサー	この設定で雨のセンサーのオンまたはオフが決まります。
照明	
設定名	概要
[17] ヘッドランプセンサー感度	この設定では、可視光の量に応じてヘッドライトの感度を設定できます。感度設定が高いほど、ライトを点灯させるために必要な外部光の変化は少なくなります(例:日没時にレベル3に設定すると、ヘッドライトはレベル1やレベル2よりも早く点灯します)。利用可能なレベルは「レベル1:最小感度」、「レベル2:中感度」、「レベル3:最大感度」です。
[18] ヘッドライトオフ遅延	この設定では、車のエンジンを切った後にヘッドライトが消えるまでの時間を設定できます。利用可能な設定は「0秒」「30秒」「60秒」「90秒」です。
[19] グリーティング・ライト	利用可能な設定は「0秒」「30秒」「60秒」「90秒」です。
[20] ハイビームコントロール	この設定でハイビームコントロールのオン・オフが決まります。
[21] デイタイムランニングライト	この設定でデイタイムランニングライトのオン・オフが可能です。
[22] コーナリングライト	この設定を選択すると、ステアリングホイールの回転角度が大きいか、ウインカーが点灯している場合、該当する側のライトが点灯し、夜間の視界改善に役立ちます。
[23] ロック付きの懐中電灯	この設定により、キーフォブのロックボタンを押すとライトの点滅をオンまたはオフできます。
ブレーキ	
設定名	概要
[24] ホールドンゴー	この設定でHold 'n Go機能のオンまたはオフができます。

[25] オートパークブレーキ	この設定でオートパークブレーキのオンまたはオフができます。
[26] ブレーキサービス	この設定でブレーキを格納してメンテナンスが可能です。

ドアと鍵

設定名	概要
[27] 自動ドアロック	この設定は、車両が走行中に自動的にドアをロックします。
[28] 出口時の自動アンロック	この設定は、内側からドアを開けるとドアが解除されます。
[29] ロック付きの懐中電灯	この設定により、キーフォブのロックボタンを押すとライトの点滅をオンまたはオフできます。
[30] ロック付きのホーン音	この設定では、キーフォブのロックボタンを押すとクラクションが鳴ります。 「オフ」設定ではロックボタンを押してもクラクションは鳴りません。 「1回押し」設定ではロックボタンを一度押すとクラクションが鳴ります。 「2回目の押下」設定では、ロックボタンを2回押すとホーンが鳴ります。
[31] リモートスタート付きのサウンドホーン	この設定でリモートスタート付きのサウンドホーンがオンまたはオフになります。
[32] キーフォブの初回押下で解除	この設定により、キーフォブのアンロックボタンを何回押してすべてのドアを解除するかが変わります。 「運転席ドア」設定は、アンロックボタンを最初に押した時だけ運転席ドアを解除します。「すべてのドア」設定では、アンロックボタンを一回押すだけですべてのドアが解除されます。
[33] キーレスエントリー	この設定では、キーレスエントリー機能(キーレスエントリー&ゴー™)をオンまたはオフできます。

座席と快適さ

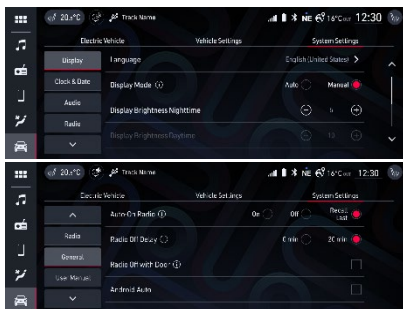
設定名	概要
[34] オートオンコンフォート	この設定により、車両のリモートスタートやイグニッション開始時に、車両の快適システムやシートヒーター、ステアリングヒーターが作動します。「オフ」設定では

	快適システムは作動しません。「リモートスタート」設定はリモートスタート時のみ快適システムが作動します。「オールスタート」設定は、車両が始動されると快適システムが作動します
ジオロケーション	
設定名	概要
[35] 位置位置情報	この設定でジオロケーションのオン・オフが決まります。

注意: 車両のオプションや機能設定によって異なる場合があります。

システム設定

「システム設定」メニューにアクセスするには、ディスプレイ下部にある「システム設定」のグラフィックボタンを押してください。



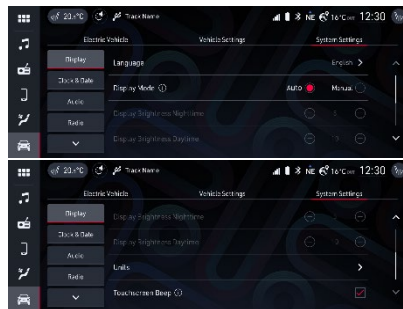
目安として、メニューには以下の項目が含まれています。

- ディスプレイ
- 時計と日付
- 音声
- 一般
- ユーザーマニュアル

- システム情報
- リセット

ディスプレイ

「ディスプレイ」メニューにアクセスするには、システム設定のサブメニューの「ディスプレイ」を押してください。



目安として、メニューには以下の項目が含まれています。

- 言語 [1]
- 表示モード [2]
- 夜間明るさ表示 [3]

- 表示明るさ 昼間 [4]
- ユニット [5]
- タッチスクリーンのビーブ音 [6]

時計と日付

「Clock&Date」メニューにアクセスするには、システム設定のサブメニュー内の「Clock&Date」をクリックしてください。

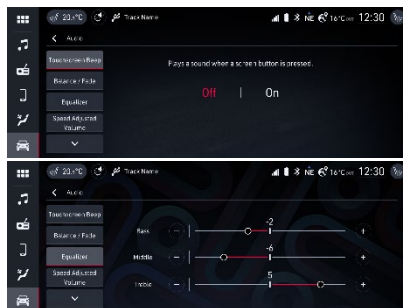
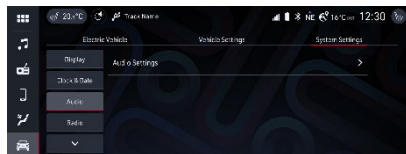


目安として、メニューには以下の項目が含まれています。

- GPSとの同期時間 [7]
- タイムオフセット [8]
- セットタイム [9]
- 時間フォーマット [10]
- ステータスバーでのショータイム [11]
- セット日(DD/MM/YY)[12]

音声

「オーディオ設定」メニューにアクセスするには、システム設定のサブメニューの「オーディオ」を押してください。

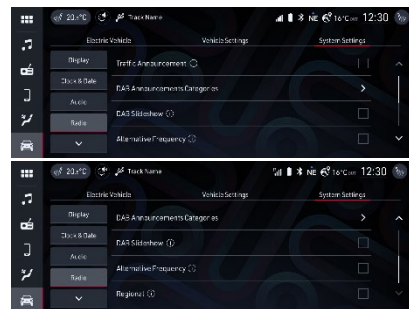


目安として、メニューには以下の項目が含まれています。

- タッチスクリーンのビープ音 [13]
- バランスかバランス/フェードか [14]
- イコライザー [15]
- 速度調整後音量 [16]
- 音量 [17]
- 自動再生 [18]
- 音量調整 [19]

ラジオ

「ラジオ」メニューにアクセスするには、システム設定のサブメニューで「ラジオ」を押してください。



目安として、メニューには以下の項目が含まれています。

- 交通情報アナウンス [20]
- DAB発表 カテゴリ [21]
- DABスライドショー [22]
- 代替周波数 [23]
- 地域 [24]

一般

「一般設定」メニューにアクセスするには、システム設定のサブメニューの「一般」を押してください。



- オートオンラジオ [25]
- ラジオオフ遅延 [26]
- ドアを閉めるラジオ [27]
- Android Auto [28]

ユーザーマニュアル

「ユーザーマニュアル」にアクセスするには、システム設定のサブメニューの「ユーザーマニュアル」をクリックしてください。



システム情報

「システム情報」にアクセスするには、システム設定のサブメニューにある「システム情報」をクリックしてください。



目安として、メニューには以下の項目が含まれています。

- ハードウェアバージョン
- ソフトウェアバージョン
- Bluetooth版
- DAB版
- 制作日
- シリアルナンバー
- パート番号
- BT MAC
- ステランティスPN
- 南西PN
- HW PN
- EMMC ID

リセット

「リセット」メニューにアクセスするには、システム設定のサブメニューの「リセット」を押してください。



目安として、メニューには以下の項目が含まれています。

- 設定をデフォルトに戻す [29]
- 工場出荷時リセット [30]

接続サービス

(提供されているバージョンや市場
については)

緊急通報 —

装備があれば

車両には事故や緊急時のサポート
を提供する車載支援機能が搭載さ
れています。この機能はエアバッグ
の展開で自動的に作動するか、バ
ックミラーの下部にあるボタンを押
すことで手動で起動することも可能
です。

システム設定一覧

ディスプレイ	
設定名	概要
[1] 言語	この設定はUconnectシステムとインストゥルメントクラスターディスプレイの言語を変更します。 利用可能な言語は英語、フランス語、スペイン語、イタリア語などです。
[2] 表示モード	この設定でラジオのディスプレイは「オート」または「マニュアル」に調整されます。 「マニュアル」はラジオディスプレイのカスタマイズ性を高めます。
[3] 夜間の明るさ表示	この設定なら、夜間の明るさを設定できます。 この設定にアクセスするには、ディスプレイモードを「マニュアル」に設定する必要があります。「+」設定で明るさが上がります。「-」は明るさを下げます。
[4] 明るさ表示 昼間	この設定なら昼間の明るさを設定できます。この設定にアクセスするには、ディスプレイモードを「マニュアル」に設定する必要があります。 「+」設定で明るさが上がります。「-」は明るさを下げます。
[5] 部隊	この設定を使えば、ユニットを以下にカスタマイズできます。 「速度」(MPHまたはkm/h)、「距離」(miまたはkm)、 「消費電力」(mi/kwh、またはkm/kWh、kWh/100km、kWh/mi、MPGe)、 「圧力」(psi、kPa、またはbar)、 「温度」(°Cまたは°F)の単位は独立して使われます。
[6] タッチスクリーンのビープ音	この設定でタッチスクリーンのビープ音をオン・オフできます。

時計と日付	
設定名	概要
[7] GPSと時間の同期	この設定はシステム内のGPS受信機と時刻を同期させます。システムはGPSの位置に基づいて時間を制御し、デフォルト設定はGMT 0です。
[8] タイムオフセット	GPSと時間同期の設定が有効の場合、時は[-12, +14]の範囲で、分は以下のいずれかの値[0, 15, 30, 45]に設定できます。 このオフセットはGMT 0に対する現地時差を表し、ユーザーの現地タイムゾーンに合わせて設定されるべきです。この設定は通常、初期設定時やタイムゾーン変更、サマータイム時のみ必要です。
[9] セット時間	メニューは2つに分かれています。時間や分単位を設定しましょう。 「Set Time Hours」サブメニューで、この設定で時間を設定することができます。この設定を有効にするには、GPSとの同期時間がオフでなければなりません。「+」設定で勤務時間が増えます。「-」設定は労働時間を減らします。 「Set Time Minutes」サブメニューで、この設定で分数を設定できます。この設定を有効にするには、GPSとの同期時間がオフでなければなりません。「+」設定で通話時間を増やします。「-」設定は通話時間を減らします。
[10] 時間フォーマット	この設定で時間フォーマット(AM/PM)を設定できます。この設定を有効にするには、GPSとの同期時間が「オフ」である必要があります。「12時間」設定で12時間単位の時間を設定します。「24時間」設定で24時間のフォーマットに設定されます。
[11] ステータスバーでのショータイム	この設定は無線のステータスバーに時間を表示します。
[12] 設定日(DD/MM/YY)	この設定で日付を設定できます。
音声設定	

設定名	概要
[13] タッチスクリーンのビープ音	この設定でタッチスクリーンのビープ音をオン・オフできます。
[14] バランス/フェード	この設定は、車両の前後および左右の特定のスピーカーからの音声レベルを調整します。スピーカーアイコンは音声の位置設定に移動できます。
[15] イコライザー	この設定はオーディオの「ベース」「ミドル」「トレブル」の各音域を調整します
[16] 速度調整音量	この設定は速度が上がるにつれて音量を調整します。設定を上げると、車両の速度が上がるにつれて音量はさらに大きくなります。利用可能な設定は「オフ」「1」「2」「最大」です。
[17] 音量	この設定は低音量での音質を向上させます。利用可能なオプションは「オン」と「オフ」です。
[18] 自動プレイ	この設定は、接続されたデバイスから自動的に音声再生を開始します。
[19] 音量調整	この設定で、メディア、電話、ナビゲーションなどの各オプションの音量レベルを設定できます。音量は0から38の間で設定できます。
ラジオ	
設定名	概要
[20] 交通アナウンス	この設定で交通情報アナウンスのオン・オフが可能です。
[21] DAB発表 カテゴリ	この設定でDAB発表カテゴリを選択できます。
[22] DABスライドショー	この設定でDABスライドショーのオン・オフが可能です。
[23] 代替周波数	この設定で代替周波数のオン・オフが可能です。
[24] 地域	この設定でリージョナルのオン・オフが可能です。
一般	
設定名	概要

[25] オートオンラジオ	この設定により、車両が始動すると自動的にラジオがオンになります。利用可能な設定は「オフ」、「オン」、「最後にリコール」です。「リコール・ラスト」では、車両停止前の作業を再開します。
[26] ラジオ停止 遅延	この設定はエンジンを切った後もラジオを動かし続けます。ドアを開けると電子機器が停止します。利用可能な設定は「0分」と「20分」です。
[27] ドアを閉めてラジオを切る	この設定はドアを開けるとラジオが切れます。 利用可能な設定は「オン」と「オフ」です。
[28] Android Auto	オン:USB接続時にAndroid Autoが表示されます。 OFF:メディア用に電話が接続されます。
リセット	
設定名	概要
[29] 設定をデフォルトに戻す	この設定により、以前に変更した設定はすべて工場出荷時のデフォルトに戻ります。注意:設定をデフォルトに戻す際は、イグニッションをオフにして数分待つてから再起動してください。この操作の誤った実行や、点火がON/RUNからOFFまでの短い時間がプライバシー設定の維持に影響する可能性があります。この場合、同じ操作を繰り返し、点火がON/RUNからOFFまでの待ち時間を延長します。
[30] 工場出荷時リセット	この設定でラジオは工場出荷時のデフォルト設定に戻ります。

注意: 車両のオプションや機能設定によって異なる場合があります。

ホモロゲーション

български [Bulgarian]	С настоящото Daiichi Elektronik San. ve Tic. A.S. декларира, че този тип радиосъоръжение VQC1006 е в съответствие с Директива 2014/53/ЕС. Цялостният текст на ЕС декларацията за съответствие може да се намери на следния интернет адрес: https://www.daiichi.com/about-us/	Lietuvių [Lithuanian]	Aš, Daiichi Elektronik San. ve Tic. A.S., patvirtinu, kad radijo įrenginių tipas VQC1006 atitinka Direktyvą 2014/53/ES. Visas ES atitikties deklaracijos teksto priėmimas šiuo interneto adresu: https://www.daiichi.com/about-us/
Cesky [Czech]	Tímto Daiichi Elektronik San. ve Tic. A.S. prohlašuje, že typ rádiového zařízení VQC1006 je v souladu se směrnicí 2014/53/EU. Úplné znění EU prohlášení o shodě je k dispozici na této internetové adrese: https://www.daiichi.com/about-us/	Latviski [Latvian]	Ar šo Daiichi Elektronik San. ve Tic. A.S. deklarē, ka radioiekārtā VQC1006 atbilst Direktīvai 2014/53/ES. Pilns ES atbilstības deklarācijas teksts ir pieejams šādā interneta vietnē: https://www.daiichi.com/about-us/
Deutsch [German]	Hiermit erklärt Daiichi Elektronik San. ve Tic. A.S., dass der Funkanlagentyp VQC1006 der Richtlinie 2014/53/EU entspricht. Der vollständige Text der EU-Konformitätserklärung ist unter der folgenden Internetadresse verfügbar: https://www.daiichi.com/about-us/	Malti [Maltese]	B'dan, Daiichi Elektronik San. ve Tic. A.S., niddikjara li dan it-tip ta' tagħmir tar-radju VQC1006 huwa konformi mad-Direttiva 2014/53/UE. It-test kollu tad-dikjarazzjoni ta' konformità tal-UE huwa disponibbli f'dan l-indirizz tal-Internet li gej: https://www.daiichi.com/about-us/
Dansk [Danish]	Hermed erklærer Daiichi Elektronik San. ve Tic. A.S., at radioudstyrtstypen VQC1006 er i overensstemmelse med direktiv 2014/53/EU. EU-overensstemmelseserklæringens fulde tekst kan findes på følgende internetadresse: https://www.daiichi.com/about-us/	Dutch [Netherlands]	Hierbij verklaar ik, Daiichi Elektronik San. ve Tic. A.S., dat het type radioapparatuur VQC1006 conform is met Richtlijn 2014/53/EU. De volledige tekst van de EU-conformiteitsverklaring kan worden geraadpleegd op het volgende internetadres: https://www.daiichi.com/about-us/
Eesti [Estonian]	Käesolevaga deklareerin Daiichi Elektronik San. ve Tic. A.S., et käesolev raadioseadme tüüp VQC1006 vastab direktiivi 2014/53/EÜ nõuetele. ELI vastavusdeklaratsiooni täielik tekst on kättesaadav järgmisel internetiaadressil: https://www.daiichi.com/about-us/	Polski [Polish]	Daiichi Elektronik San. ve Tic. A.S. niniejszym oświadczam, że typ urządzenia radiowego VQC1006 jest zgodny z dyrektywą 2014/53/UE. Pełny tekst deklaracji zgodności UE jest dostępny pod następującym adresem internetowym: https://www.daiichi.com/about-us/
Espanol [Spanish]	Por la presente, Daiichi Elektronik San. ve Tic. A.S. declara que el tipo de equipo radioeléctrico VQC1006 es conforme con la Directiva 2014/53/UE. El texto completo de la declaración UE de conformidad está disponible en la dirección Internet siguiente: https://www.daiichi.com/about-us/	Portugues [Portuguese]	O(a) abaixo assinado(a) Daiichi Elektronik San. ve Tic. A.S. declara que o presente tipo de equipamento de rádio VQC1006 está em conformidade com a Diretiva 2014/53/UE. O texto integral da declaração de conformidade está disponível no seguinte endereço de Internet: https://www.daiichi.com/about-us/
Suomi [Finnish]	Daiichi Elektronik San. ve Tic. A.S. vakuuttaa, että radiolaitetyyppi VQC1006 on direktiivin 2014/53/EU mukainen. EU-vaatimustenmukaisuusvakuutuksen täysimittainen teksti on saatavilla seuraavassa internetosoitteessa: https://www.daiichi.com/about-us/	Românesc [Romanian]	Prin prezenta, Daiichi Elektronik San. ve Tic. A.S. declară că tipul de echipament radio VQC1006 este în conformitate cu Directiva 2014/53/UE. Textul integral al declarației UE de conformitate este disponibil la următoarea adresă internet: https://www.daiichi.com/about-us/

Français [French]	Le soussigné, Daiichi Elektronik San. ve Tic. A.S., déclare que l'équipement radioélectrique du type VQC1006 est conforme à la directive 2014/53/UE. Le texte complet de la déclaration UE de conformité est disponible à l'adresse internet suivante: https://www.daiichi.com/about-us/		Swenska [Swedish]	Härmed försäkrar Daiichi Elektronik San. ve Tic. A.S. att denna typ av radioutrustning VQC1006 överensstämmer med direktiv 2014/53/EU. Den fullständiga texten till EU-försäkran om överensstämmelse finns på följande webbadress: https://www.daiichi.com/about-us/
English	Hereby, Daiichi Elektronik San. ve Tic. A.S. declares that the radio equipment type VQC1006 is in compliance with Directive 2014/53/EU. The full text of the EU declaration of conformity is available at the following internet address: https://www.daiichi.com/about-us/		Slovensko [Slovenian]	Daiichi Elektronik San. ve Tic. A.S. potrjuje, da je tip radijske opreme VQC1006 skladen z Direktivo 2014/53/EU. Celotno besedilo izjave EU o skladnosti je na voljo na naslednjem spletnem naslovu: https://www.daiichi.com/about-us/
ελληνικά [Greek]	Με την παρούσα ο/η Daiichi Elektronik San. ve Tic. A.S., δηλώνει ότι ο ραδιοεξοπλισμός VQC1006 πληροί την οδηγία 2014/53/ΕΕ. Το πλήρες κείμενο της δήλωσης συμμόρφωσης ΕΕ διατίθεται στην ακόλουθη ιστοσελίδα στο διαδίκτυο: https://www.daiichi.com/about-us/		Slovensky [Slovak]	Daiichi Elektronik San. ve Tic. A.S. týmto vyhlasuje, že rádiové zariadenie typu VQC1006 je v súlade so smernico 2014/53/EÚ. Úplné EÚ vyhlásenie o zhode je k dispozícii na tejto internetovej adrese: https://www.daiichi.com/about-us/
Hrvatski [Croatian]	Daiichi Elektronik San. ve Tic. A.S. ovime izjavljuje da je radijska oprema tipa VQC1006 u skladu s Direktivom 2014/53/EU. Cjeloviti tekst EU izjave o sukladnosti dostupan je na sljedećoj internetskoj adresi: https://www.daiichi.com/about-us/		Norsk [Norwegian]	Herved Daiichi Elektronik San. ve Tic. A.S. erklærer at radioutstyr typen VQC1006 er i samsvar med direktiv 2014/53 / EU. Den fullstendige teksten i EU-erklæring er tilgjengelig på følgende internetadresse : https://www.daiichi.com/about-us/
Magyar [Hungarian]	Daiichi Elektronik San. ve Tic. A.S. igazolja, hogy a VQC1006 típusú rádióberendezés megfelel a 2014/53/EU irányelvnek. Az EU-megfelelőségi nyilatkozat teljes szövege elérhető a következő internetes címen: https://www.daiichi.com/about-us/		Íslenska [Icelandic]	Hér, Daiichi Elektronik San. ve Tic. A.S. lýsir yfir að radióbúnaður gerð VQC1006 er í samræmi við tilskipun 2014/53 / ESB. The fullur texti af ESB-samræmisýfirlýsing er í boði á eftirfarandi veffangi: https://www.daiichi.com/about-us/
Italiano [Italian]	Il fabbricante, Daiichi Elektronik San. ve Tic. A.S., dichiara che il tipo di apparecchiatura radio VQC1006 è conforme alla direttiva 2014/53/UE. Il testo completo della dichiarazione di conformità UE è disponibile al seguente indirizzo Internet: https://www.daiichi.com/about-us/		Türkçe [Turkish]	İşbu belge ile Daiichi Elektronik San. Ve Tic. A.S. VQC1006 tipi radyo ekipmanının 2014/53 / AB sayılı Direktife uygun olduğunu beyan eder. AB uygunluk beyanının tam metni aşağıdaki internet adresinden edinilebilir: https://www.daiichi.com/about-us/

他のホモロゲーションの参考文献。

アルゼンチン



RAMATEL
H-30711

ブラジル

Este equipamento não tem direito à proteção contra interferência prejudicial e não pode causar interferência em sistemas devidamente autorizados.

この機器は有害な干渉から保護されておらず、適切に認可されたシステムに干渉してはなりません。

メキシコ

La operación de este equipo está sujeta a las siguientes dos condiciones: (1) es posible que este equipo o dispositivo no cause interferencia perjudicial y (2) este equipo o dispositivo debe aceptar cualquier interferencia, incluyendo la que pueda causar su operación no deseada.

この機器の動作は以下の2つの条件に従います。(1) この機器または機器が有害な干渉を引き起こさない可能性があること、(2) 望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含むあらゆる干渉を受け入れなければならない。

RF被曝

この機器は、制御されていない環境に対して定められたCE放射線曝露限度に準拠しています。この機器は、ラジエーターとあなたの体との間に最低20cmの距離を置いて設置・操作する必要があります。

FCC規則

この装置はFCC規則の第15部に準拠しています。動作は以下の2つの条件に従います。(1) この装置は有害な干渉を生じさせてはならない、(2) 望ましくない動作を引き起こす干渉を含む、受信した干渉を受け入れなければなりません。

この機器はFCC規則第15部に基づき、クラスBデジタル機器の制限を遵守することが試験されました。これらの制限は、住宅設備における有害な干渉から合理的な保護を提供することを目的としています。この装置は無線周波数エネルギーを発生・使用・放射し、設置・使用しない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。しかし、特定の設置で干渉が起こらない保証はありません。もしこの機器がラジオやテレビの受信に有害な干渉を引き起こす場合(機器の電源を切ってから確認できます)、ユーザーは以下のいずれかの対策で干渉を修正するよう推奨されています。

- ー受信アンテナの向きを変えるか、配置を変えてください。
- ー機器と受信機の間隔を広げてください。
- ー受信機が接続されている回路とは異なる回路のコンセントに機器を接続します。
- ーディーラーや経験豊富なラジオ・テレビ技術者に相談してください。

製造元が明示的に承認していない変更や改造は、ユーザーの機器操作権限を無効にする可能性があります。

FCCのRF放射線被曝声明

この機器は、管理されていない環境向けに定められたFCCの放射線被曝限度に準拠しています。FCCのRF曝露遵守要件に準拠するため、この助成金はモバイル構成のみに適用されます。送信機に使用されるアンテナは、すべての人から少なくとも20cmの距離を保つように設置されなければならない、他のアンテナや送信機と共に設置または同時に運用してはなりません。

この装置は5150MHzから5250MHzの周波数帯域で動作する場合のみ屋内使用に限定されています。

カナダ

この装置はIndustry Canadaの免許RSSに準拠しています。運用には以下の2つの条件が適用されます。

- (1) この装置は干渉を生じさせてはならない。および
- (2) この装置は望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含むあらゆる干渉を受け入れなければならない。

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes:

- (1) 訴訟は訴訟の義務を負わない;
- (2) L'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

注意

この送信機は他のアンテナや送信機と同一場所に置かれたり、同時に運用されてはなりません。この機器は、ラジエーターと体の間に最低20センチの距離を保って設置・操作する必要があります。Cet émetteur ne doit pas être Co-placé ou ne fonctionnant en même temps qu'aucune autre antenne ou émetteur. Cet équipement devrait être installé et actionné avec une distance minimum de 20 centimètres entre le radiateur et votre corps.

チャンネル	周波数帯
Wi-Fi 5G(U-NII-1)	5150 ~ 5250
Wi-Fi 5G(U-NII-3)	5725 ~ 5850



詳細なユーザーマニュアルについては
www.stellantisinfotainment.com をご覧ください
。
QRコードをスキャンするとウェブサイトにはアクセスできま
す。

